

5/15
(金)

赤崎隆幸さんが塩あめを寄贈 暑い季節にエールを

菊栄丸水産の代表・赤崎隆幸さん(白瀬)が5月15日、町に塩あめ240袋を寄贈しました。

これは新型コロナウイルス感染症対策でマスクを着用する子どもや町民の熱中症防止に役立ててもらおうと赤崎さんが申し出たものです。

寄贈を受けた川添町長は「これから暑くなる季節なので、大変ありがたい」と感謝しました。

塩あめは町内の各小学校のスポーツ少年団などに配布されました。また、町の寄贈のほか、町民にも塩あめは配られたとのこと。



川添町長に塩あめを手渡す赤崎さん

5/24
(日)

恵比寿市3カ月ぶりに開催 長島に活気が少しずつ戻る

新型コロナウイルス感染症の影響で毎月の開催を自粛していた「ながしま恵比寿市」が5月24日、3カ月ぶりに行われました。町内外から家族連れなど、約200人の来場者で大いにぎわいました。

会場では、長島の海産物や加工品がずらりと並び、安価で販売されました。

いちき串木野市から来場した平山真嗣さんは「長島に来て元気をもらった。帰ったら、また仕事をがんばりたい」と満足げでした。



詰め放題のアジを袋に詰める来場者ら

5/29
(金)

蔵之元小で森林体験教室 見て触れて、楽しく学ぶ

5月29日、蔵之元小学校(肥後広行校長・57人)で5・6年生21人を対象に森林教室がありました。

この授業は同校で今年度予定されていた宿泊学習が新型コロナウイルス感染症のため、規模が縮小されるに伴い企画されたものです。今回は体験活動を中心に子どもたちに森林資源の大切さを楽しく学んでもらおうと、県北薩地域振興局の職員が講師に招かれました。

チーム対抗の丸太切り競争などでは、子どもたち

が元気な声を響かせ、竹とんぼ作りでは、ろうそくの火で温めながら真剣なまなざしで竹羽の角度をこまやかに調整。竹羽に思い思いに色を塗って仕上げ、高く飛ばして楽しんでいました。6年生の町田天君は「丸太の切り方のコツが分かった」と充実した様子でした。



鮮やかに色付けした竹とんぼを手に笑顔の児童たち